

令和5年 第1決算審査特別委員会討論要旨

◎市民ネットワーク

市民ネットワークを代表し、第1決算審査特別委員会に付託されました認定第1号「令和4年度滝川市一般会計歳入歳出決算」認定を可とする立場で討論いたします。

新型コロナウイルス感染症や電気料金を含む物価高の影響が大きかったにも関わらず、将来人口を見据えた施策の推進、滝川市第2期財政健全化計画に基づく事務事業の見直しなど、財政健全化を念頭に市政執行に当たられました前田市長をはじめ市理事者、関係職員の皆様のご努力に心から敬意を表します。

以下に意見を付します。

令和4年度の一般会計においては、ふるさと納税の推進、様々な経費節減に努められ約11億円の黒字となり、結果として基金積み増しがなされた事は良かったと考えます。

しかし、今後は老朽化した公共施設の再編に伴う除却など、財政的な課題が山積しており、財源確保策も含めた対応に更なるご努力をお願いしたい。また、自主財源の柱となっている「ふるさと納税」の寄付金収入に、返礼品などの規制強化が行われる事から、情報収集と対策の強化をお願いしたい。

以上を申し上げまして、賛成討論といたします。

◎新 政 会

新政会を代表して、第1決算審査特別委員会に付託されました認定第1号令和4年度滝川市一般会計歳入歳出決算を可とする立場で、以下若干の意見要望を付して討論いたします。

令和4年度は、前年に引き続きコロナ感染症が収まらず、その影響による物価高を受け、各事業や予算執行に大幅な修正を余儀なくされたものと思われまます。しかしながら「第2期滝川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の3年目にあたること、そして「滝川市第2期財政健全化計画」に沿った事業見直しなどで、一般会計約11億6800万円余の黒字決算をされた理事者並びに市職員の方々の努力に敬意を表します。

(歳入)では、ふるさと納税額が順調な伸びを収めましたが、社会変化に応じた新しい試みなどを心掛けて更なる増額を目指していただきたい。また、令和5年度はコロナ感染症も5類になったことから、これまでの様なコロナ対策の特別交付金が期待されないことから、より一層の注意を払って、積極的財源獲得に努力していただきたい。

(歳出)では、財源健全化を目標にして、事務事業の見直しや効率化を図ることは大事であるが、アフターコロナにおける住民福祉の充実や生活安定に有効な施策を考え、実行していただきたい。

決して黒字確保を最大命題とせず、住民の為に必要な事業実施とのバランスを考えながらも、市長の積極的政策展開を期待して、新政会の賛否討論とします。

◎公明党

私は公明党を代表し、第1決算審査特別委員会に付託されました認定第1号令和4年度滝川市一般会計歳入歳出決算の認定に対し、賛成の立場で討論致します。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、電気、ガソリン、食品等の高騰で市民生活が逼迫の度を増す一年でありました。その中で市民への物価高騰支援及び財政健全化の取り組みに努められた理事者、職員の皆様に敬意を表します。

令和4年度は、コロナ禍の市民生活支援策として、住民税非課税世帯等への臨時特別給付金給付事業、電力等価格高騰緊急支援給付金給付事業、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した各種の事業等、市民生活の窮状に寄り添った事業を行ってきました。これらの事業を行う中で「第2期財政健全化計画」に基づき、事務事業の見直しを実施する等で一般会計では11億6847万円の余剰を生み、令和5年度予算においては1863万円の効果額を造り出しました。私は、これらのことを高く評価し賛成討論とします。

最後に滝川にとって、令和5年度から6年度にかけては将来を決定づける年と考えており、理事者、職員の皆様とともに議会も覚醒をもって臨む年としなければならないと考えております。

◎日本共産党

日本共産党を代表して、第1決算審査特別委員会に付託された認定第1号「令和4年度滝川市一般会計歳入歳出決算」を可とする立場で討論いたします。

令和4年度は、「滝川市第2期財政健全化計画」推進の3年目であり、事務・事業の見直しを進め、また新たな課題の対応と将来に向けた投資を図る予算編成のもと、市民が安心して暮らせるまちづくりを目指し行政執行に当たられた市長、理事者、職員のみなさまに敬意を表します。

本決算年度は、市民の文化・スポーツ活動への支援として市民交流プラザがオープンし、滝の川公園テニスコートの試験運用がはじまりました。また、物価やエネルギー価格高騰の影響を特に受けている子育て世帯や非課税世帯に対する支援金給付事業や農業者に対する影響緩和を目的とした支援が実施され、住民の暮らしや地域経済を支える取り組みが行われたことを評価するものです。

しかし、少子化、高齢化そして人口減が着実に進行しています。そのため交通手段や除排雪等に日々新たな問題が生じています。それらに迅速・適切に対応すべく、策定されたまちづくりの計画や高齢者保健福祉計画、障がい者計画などにもとづき、だれでもが住みやすいまちづくりに努めていただきたい。

以上、賛成討論といたします。